



1\_ 地域の人たちが行灯に火をとます 2\_15日はきれいな月が昇った 3\_住民と町並みが作り出す幽玄の世界 4\_はぜとり唄に合わせて踊る 5\_風情ある上芳我邸の庭で演奏会

### 月満ちる町並みをそぞろ歩き 町並保存地区で恒例の観月会

中秋の名月を愛でる「八日市町並観月会」(同実行委員会主催、芳我明彦実行委員長)は9月14・15の両日、八日市・護国地区の伝統的建造物群保存地区で開かれました。

秋の風物詩となったイベントに、2日間で約4,000人が来場。琴栄会の皆さんによる琴の音色に耳を傾けながら、ライトアップされた幻想的な町並みをそぞろ歩きました。また木蠟資料館上芳我邸で阿部一成さんと土井淳さんの篠笛と鍵盤の演奏会「月満ちて」があったほか、月見団子の販売や手漉き和紙の作品展、翠月流の皆さんの、はぜとり踊りなどがあり、訪れた人々を楽しませていました。芳我実行委員長は「住民と町並みと月とがつくり出す幽玄の世界を楽しんでもらえてよかった。大変なイベントだけど、地域住民や町並保存会の女性部、松山大学の学生など多くの人々の協力で続けられている。感謝の気持ちでいっぱい」と思いを語りました。



小さな子どもたちも収穫のお手伝い

### 1年で一番うれしい秋がやってきた 泉谷で棚田オーナーが収穫体験

「棚田オーナー稲刈り」(泉谷地区棚田を守る会主催、上岡満栄会長)が9月15日、御祓地区泉谷の棚田で行われました。最初に上岡さんが「今年は苗を上手に植えてもらった。おかげさまで、いい稲が実った」と笑顔であいさつ。その後、10組25人のオーナーが、約3時間かけて稲を手狩りして稲木に掛ける作業をし、収穫の日を迎えた喜びを分かち合いました。

### 「ぼこぼこクラブ」が滞在型創作活動を開始 まずはプロの技術を学ぶワークショップ

ぼこぼこクラブの演劇公演「光垂れーる」(詳細は25ページに掲載)のワークショップ型オーディションが8月27・28の両日、内子座で行われ、町内外から12人が参加しました。同クラブのメンバーが、ミニゲームや即興演劇などで表現力の高め方を教えながら、参加者の適性などを見極めました。10月15日からは内子町に滞在し、参加者と練習を重ねながら作品を作り上げるそうです。



コミュニケーション力と表現力がつくミニゲーム

### 「四国アイランドリーグplus公式戦」 城の台でリーグ終盤の首位攻防戦

愛媛マンダリンパイレーツと香川オリーブガイナーズの試合が9月1日、城の台公園で行われました。子どもたちがボールボーイやエスコートキッズを務めたほか、小田高校吹奏楽部の演奏などで、リーグ戦終盤の大事な一戦に花を添えました。試合は中西雄大選手の好守備などで接戦となりましたが、0-2で惜敗。しかし9月10日には2位の香川が敗れ、愛媛の後期優勝が決まりました。



山岡晋教育長が始球式を行う

### 御祓の清らかな水で「御祓いなさいませ」 グリーンツーリズム協会の滝行体験

グリーンツーリズム体験事業の1つ「滝行体験」(内子町グリーンツーリズム協会主催)が7~9月の間、御祓地区の紅葉ヶ滝で行われました。御祓の地名にちなんで、邪気を祓い心と魂を浄化する体験です。9月2日に体験した仙波徹大さんと伊藤実真さんは「苔がキラキラと光り神秘的だった。日ごろの疲れが癒され気持ちを新たにできた」と爽やかな笑顔で話しました。



滝行を終え、記念のお守りを手にする体験者

### 地域活動の活力に宝くじが貢献 南山に「コミュニティ助成事業」



(一財)自治総合センターでは宝くじによる社会貢献の一環で、コミュニティ事業を行っています。今年度、内子町では南山自治会が助成を受け、「おんごく南山山菜まつり」などで使用するテント・机・ベンチを購入し、それらを収納する物置を設置しました。同自治会長の源田幸生さんは「備品が充実し、イベントの準備や運営がスムーズになる。地域のために大切に使いたい」と話しました。



宝くじ助成で充実した南山自治会の備品の一部